

事務事業名		大船渡市学校保健会運営支援事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業																													
政策体系	政策名	0:6:豊かな心を育む人づくりの推進			事業期間		予算科目																													
	施策名	2:7:義務教育の充実																																		
	基本事業名	0:4:心豊かでたくましく生きる人間の形成			☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 S42 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入		01 01	10 10	02 03	02 02	02 03																									
根拠法令	大船渡市学校保健会会則																																			
所 属	部課名	教育委員会学校教育課			全体計画 (期間限定複数年度のみ)		<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">総 投 入 量 (千 円)</td> <td rowspan="5">事 業 費 内 訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費計 (A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人 件 費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計 (B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A) + (B)</td> <td>0</td> </tr> </table>					総 投 入 量 (千 円)	事 業 費 内 訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計 (A)		0	人 件 費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計 (B)	0	トータルコスト(A) + (B)		0
	総 投 入 量 (千 円)	事 業 費 内 訳	国庫支出金																																	
			都道府県支出金																																	
地方債																																				
その他																																				
一般財源																																				
事業費計 (A)		0																																		
人 件 費	正規職員従事人数																																			
	延べ業務時間																																			
	人件費計 (B)	0																																		
トータルコスト(A) + (B)		0																																		
係 名	学務係	電話	0192-27-3111																																	
		内線	278																																	

事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)
 大船渡市では、学校保健分野で最前線に位置づけられる大船渡市学校保健会の運営を支援するため、児童生徒1人あたり100円で算定した補助金を交付し、学校保健の改善及び向上を図っている。
 一方、大船渡市学校保健会では、学校保健思想の普及・啓発を図るために学校保健講演会を開催する。また、学校保健活動推進のための調査・研究活動を実施するために、学校保健統計調査を実施する。
 主な業務は、大船渡市としては、大船渡市学校保健会運営補助金交付申請書の審査及び補助金の支払い、事業実績報告書の審査である。一方、大船渡市学校保健会としては、大船渡市学校保健会運営補助金交付申請書の作成、総会・講演会の開催、学校医部会・養護教諭部会・給食部会による事業運営及びその補助である。
 事業費は、市立小中学校児童生徒1人あたり100円で算出した大船渡市からの補助金である。
 大船渡市学校保健会とは・・・学校長及び教職員、PTA、学校医などで組織される学校保健における各種事業を展開する団体

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
手段 (主な活動)	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)								
前年度実績 (前年度に行った主な活動)	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 各市立小中学校数</td> <td>校</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 各市立小中学校数	校	イ		ウ	
名称	単位								
ア 各市立小中学校数	校								
イ									
ウ									
今年度計画 (今年度に計画している主な活動)									
補助金交付申請書の作成、審査及び支払い、事業実績報告書の作成及び審査、総会・講演会の開催、学校医部会・養護教諭部会・給食部会による事業運営及びその補助 補助金交付申請書の作成、審査及び支払い、事業実績報告書の作成及び審査、総会・講演会の開催、学校医部会・養護教諭部会・給食部会による事業運営及びその補助	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 各市立小中学校児童生徒数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 各市立小中学校児童生徒数	人	キ		ク	
名称	単位								
カ 各市立小中学校児童生徒数	人								
キ									
ク									
対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 大船渡市学校保健会会員 (市立小中学校児童生徒)	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 大船渡市学校保健会会員加入率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 大船渡市学校保健会会員加入率	%	シ		ス	
名称	単位								
サ 大船渡市学校保健会会員加入率	%								
シ									
ス									
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか) 心身ともに健康で学校生活を送ることができる。	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 大船渡市学校保健会会員加入率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 大船渡市学校保健会会員加入率	%	シ		ス	
名称	単位								
サ 大船渡市学校保健会会員加入率	%								
シ									
ス									
結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか) 健康でたくましく成長できる。									

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)
投入量	事業内訳	単位						
投入量	事業内訳	国庫支出金	千 円					
		都道府県支出金	千 円					
		地方債	千 円					
		その他	千 円					
		一般財源	千 円	317	388	372	362	347
	人件費	事業費計 (A)	千 円	317	388	372	362	347
		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時 間	400	400	400	150	150
		人件費計 (B)	千 円	1,600	1,600	1,600	600	600
		トータルコスト(A) + (B)	千 円	1,917	1,988	1,972	962	947
活動指標	ア	校	22	22	22	22	22	22
		イ						
		ウ						
対象指標	カ	人	3,968	3,880	3,712	3,616	3,464	3,400
		キ						
		ク						
成果指標	サ	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		シ						
		ス						

事務事業ID	0958	事務事業名	大船渡市学校保健会運営支援事業
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

昭和42年4月に当市における学校保健の改善、向上を図ることを目的として「大船渡市学校保健会」が発足し、その当時から大船渡市では運営補助金を交付している。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

市立小中学校児童生徒数が減少している。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

特になし

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] 運営支援することにより、学校保健の改善及び向上の一助となっている。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] 全市一体となった事業を展開することが必要であり、自主財源のみでは事業縮小せざるを得ない。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 対象、意図ともに大船渡市学校保健会会員(市立小中学校児童生徒)全員としており、限定追加する必要がない。
有効性 評価	成果の向上余地	☐ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない [理由] 市内学校保健関係者で組織されており、これ以上の成果向上余地が認められない。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 大船渡市学校保健会は自主財源のみでの事業実施となり、事業縮小せざるを得ない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 類似事業がない。
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 対象が市立小中学校児童生徒全員ということで、削減余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☒ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない [理由] 当市では、市教委が事務局を担っているが、岩手県内の他市町村の状況をみると、各小中学校が持ち回りで事務局を担っているところも見受けられる。そこで、事務局を移管することにより、人件費の削減につながり、もって事業費が削減されることとなる。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 保護者からも分担金を徴しており、全市的に公平・公正である。

事務事業ID	0958	事務事業名	大船渡市学校保健会運営支援事業
--------	------	-------	-----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 大船渡市学校保健会運営支援のための補助金支出を適正に執行できた。 また、大船渡市学校保健会事業についても、養護教諭部会や給食部会と連携を図りながら事業実施することができた。 なお、事務局移管については、関係機関と協議しながら議論していくこととする。																						
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 学校保健会事務局を他の団体に移管することにより、事務量の削減につながる。										
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																						
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持	●		×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 新しい学校保健会事務局の受け皿確保が困難である。																								

(職名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	学校教育課長
-------	--------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☒ 記述は十分なされている

評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり
効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

学校保健事業は、学校保健への関心と意欲を高めるためと保健活動の推進に必要な事業である。各関係機関と協議し、事務局の移管について見直す必要がある。

(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持
 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)

(上記方向性に対する具体的な内容)

医師会や学校医との連携を密にし、今後の活動の精選を図る。また、事務局を各小中学校に移管し、持ち回りで担当するなど、検討が必要である。

(5) 改革・改善による期待成果

左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持	●		×
	低下		×	×

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項